

WORLD ROWING U23 CHAMPIONSHIPS

2014 REPORT 3 (7/19)

9:00 バレーゼ湖に向けてホテルを出発

9:25 バレーゼ湖に近いスーパーで水分を購入

レジでいつも通りレシートをもらおうとしたが、英語が全く通じない人だった。どうしようか戸惑ったが、たまたま手にしていた手帳にイタリア語でレシートを意味する「ricevuta」の文字を書いておいたことを思い出し、それを見せご理解いただくことができた。

9:30 バレーゼ湖に到着

各クルー、梶田コーチ、森山サポートコーチとメニューや注意点について確認し水上へ。



梶田コーチとBLM4-クルー



森山サポートコーチとBLM1x古米選手
(日本大)

この日は、日本と地元イタリアのほかに、ベルギー、カナダ、アメリカ、ニュージーランドの選手たちを見ることができた。

また、明日からのオフィシャルトレーニング期間に備えてFISAオフィスの予定場所に人が入り始めた。そこで確認したかった明日からのシャトルバスとの運行とADカードの発行について、さらに昼食を何処でとるかを聞くことができた。

選手用の水の補充分を買いに昨日に引き続き湖の脇のレストランに行くと、昨日も対応してくれた若い店員さんが頼んだ数量よりも数本多く入れてくれた。貰い過ぎだと言うと、それは俺の気持ちだと言ってくれた。地元の人々が海外から来た我々を歓迎し、大会を盛り上げようとしてくれていくことがとても嬉しく感じた。



フロントウイングリガーならではの工夫
(BLM2-)



トレーニング風景 BLM2x: 左より 濱上選手
(関西電力美浜), 山口選手(日本大)



トレーニング風景 出艇前にハイトを変更しポ
ジションを修正したBW1x榊原選手(早稲田大)



トレーニング風景 BLW2x: 左より 富田選手
(明治大), 川本選手(日本体育大)

12:15 昼食のため一度ホテルへ

この日は土曜日のせいか、バレーゼ湖には多くの人々が訪れているように感じた。ま
たサイクリングを楽しむ人々が非常に多く感じた。



宿舎 Palace Hotel Legnanoでの昼食

16:00 午後の練習のため再びバレーゼ湖へ

この日も暑かったので選手たちは水分補給に注意して、集中して練習を行った。



グランドスタンドからバレーゼ湖を望む



艇を置くウマがないときに一工夫をし足回りの調整。BLM1x古米選手(日本大)



ラフなコンディションの中力漕するBLM1x古米選手(日本大)



トレーニング風景 BLM2-: 左より 林選手(中央大), 藤田選手(一橋大)



トレーニング風景 BLW1x 納田選手(関西電力小浜)

19:10 練習を終えホテルへ戻る

この日まではチャーターしたバスでの移動であったが、明日からは大会で用意されたシャトルバスでの往復になるため、改めて時間厳守をすることと、ADカードを作成するためにパスポートを必ず持ってくることを伝え解散した。



明日のADカード発行のため事前調整を進める中上チームリーダー